



天瀬

## Amagase



## 初春の陽気に包まれて

3月12日、馬原地区で「第4回馬原夢見体楽祭」が行われた。これは、同地区で2年に1度実施されているスポーツの祭典。4年ぶりの開催となった今回は、ウォーキングをテーマに、子供から大人まで約60人が参加。初春のうらかなこもれびの中、よもやま話に花を咲かせつつ自然を満喫しながら、健康づくりと親睦を兼ねたウォーキングを楽しんでいた。



## かわいい雛祭り

3月3日、五馬保育園で恒例の「雛祭り」が行われた。園児一人ひとりが、色とりどりの折り紙や散歩中に拾ってきた木の実などを使って、リースやかわいらしいお内裏様とお雛様を制作。力作の雛飾りを手に、雛段の前で「あかりをつけましょ〜」と元気いっぱい歌ったり、少しお澄ました顔で写真撮影をしたりと、いつもの保育園とは違う華やかな雰囲気の中、桃の節句を楽しんだ。

前津江

## Maetsue



## 命・そして、その命を支える「食育」

3月21日、前津江小学校の体育館で、家庭教育講演会が行われた。これは、公民館と小中連合育友会の共催事業で、命・そして、その命を支える「食育」について学べる講演会。福岡県家庭教育アドバイザーの内田美智子さんを講師に迎え、「いのちをいたでつないでいくこと」と題した今回の講演は、食への感謝と命の重みを考える貴重な時間となった。



## 温かな雰囲気の中、練習の成果を披露！

3月12日、前津江公民館で4年ぶりに公民館まつりが開催された。自主学习教室や公民館主催事業に参加している教室生が、芸能発表や活動紹介、作品展示を実施。コロナ禍で活動に制限があった中、教室生一人ひとりが練習に励み、精いっぱいのパフォーマンスで会場を盛り上げた。フィナーレは舞踊教室生と着付教室生による総踊りで、久しぶりの公民館まつりを締めくくった。



日田

## Hita



## CMで我が町の魅力を発信！

3月1日、大分市のセントクレアヒルズから生放送された、OAB大分朝日放送「大分ふるさとCM大賞VOL.20」。県内18市町村が我が町の魅力を発信しようと、平成15年から始まり、今年で20回目を迎えた。日田市は、小鹿田焼を題材に、自然の音で魅せる「HITA NO OTO」と題したCMで、見事第2位に入賞！CM動画は、市公式YouTube「HITA Tube」からは是非チェックしてほしい。



## 春のひとときに、ゆったりおひなさま巡り

2月15日～3月31日、日田に春の訪れを告げる「第40回天領日田おひなまつり」が開催された。期間中は、市内の10数か所の旧家や資料館で、往時の文化を物語る全国的にも珍しい雛人形から、紙と布で作る「おきあげ雛」と呼ばれる人形まで、数々の雛人形や雛道具が一斉に展示・公開された。訪れた人々は、昔ながらの町並みに風情を感じながら、おひなさま巡りを楽しんでいた。



## 極上の果実を生み出す、熱い気持ちを一冊に

3月17日、農業情報誌「ハレノヒ ヒタ フルーツ」の完成披露会が市役所で行われた。制作に携わった若手生産者、デザイナー、写真家などがそれぞれの視点で、紙面へのこだわりや思いを語った。スイカ、梨、ぶどうの農産物の枠を超えて、若手生産者の純情でまっすぐな情熱と手間も時間も惜しまない姿が伝わるこの情報誌は、高級フルーツギフトや旬入りフェアなど販売促進イベントで配布される。



## 最後まで駆け抜ける

3月12日、「第24回天領日田ひなまつり健康マラソン大会」が開催された。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、2年ぶりの開催となった。5.5kmと13kmの新コースとなった今大会。日田市陸上競技場をスタートした参加者348人は、天領日田おひなまつり期間中の豆田町など、日田の町並みを楽しみながら最後まで走り抜いていた。